

## 1. 評価結果概要表

作成日 平成 19 年 12 月 27 日

### 【評価実施概要】

事業所番号	3870102187		
法人名	社会福祉法人 松山紅梅会		
事業所名	グループホーム 梅本の里		
所在地	愛媛県松山市北梅本町1624番地1 (電話) 089-975-6985		
管理者	植村 雪		
評価機関名	愛媛県社会福祉協議会 利用者支援班		
所在地	愛媛県松山市持田町三丁目8-15		
訪問調査日	平成 19 年 11 月 13 日	評価確定日	平成 19 年 12 月 28 日

【情報提供票より】 (平成 19 年 10 月 1 日事業所記入)

#### (1) 組織概要

開設年月日	平成 13 年 5 月 15 日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	18 人	常勤 15 人, 非常勤 3 人, 常勤換算	16.8 人

#### (2) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	円	その他の経費(月額)	17,000 円
敷金	有( )円	○ 無	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( )円	有りの場合 償却の有無	
食材料費	朝食	300 円	昼食 450 円
	夕食	450 円	おやつ 円
	または1日当たり 円		

#### (3) 利用者の概要 (平成 19 年 10 月 1 日事業所記入)

利用者人数	18 名	男性 4 名	女性 14 名
要介護1	8 名	要介護2	3 名
要介護3	3 名	要介護4	4 名
要介護5	名	要支援2	名
年齢	平均 83 歳	最低 70 歳	最高 93 歳

#### (4) 他に事業所として指定等を受けている事業及び加算

指定	なし	指定介護予防認知症対応型共同生活介護
指定	なし	指定認知症対応型通所介護
届出	なし	短期利用型共同生活介護
加算	あり	医療連携体制加算

### 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

ホームは2ユニットで、みかん畑や田園の広がる郊外に立地し、季節の移り変わりを感じ取れる。運営法人は特養、デイサービス、在宅介護支援事業所などを開設している社会福祉法人である。法人内の看護師や栄養士の協力を得てケアに活かし、主治医は2週間に1度往診に訪れ、24時間体制で健康面の安全管理に努めている。職員は利用者各人の状況を把握し、詳細な介護計画を立て、優しく語りかけながら日々のケアに熱心に取り組んでいる。施設合同で企画される運動会などのイベントに参加したり、施設の大型バスを利用して公園や寺、花見、買い物など

### 【質向上への取組状況】

#### ▼ 前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況 (関連項目: 外部4)

外部評価で身体機能の低下した利用者の活動や外出の機会が少ない点などが指摘されたことを受け、職員で改善策を話し合い、外出の機会を多く取り、地域行事に参加する機会を増やすよう工夫している。

#### ▼ 今回の自己評価に対する取り組み状況 (関連項目: 外部4)

法人施設合同での地域交流は盛んに行われているが、ホーム独自の地域との交流を更に深め、地域密着型サービスを更に推進する必要性を今後の課題として検討している。

#### ▼ 運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み (関連項目: 外部4, 5, 6)

第1回の会議では会議の趣旨やホームの運営方針、地域との連携の必要性などについて、地域代表者、市担当者、法人施設長、管理者、利用者、家族で話し合い、最近の会議では、ホームの見学、看取りの対応、地域との連携の必要性、避難訓練の話し合いなどが行われている。

#### ▼ 家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映 (関連項目: 外部7, 8)

ホーム便りを季節ごとに発行し、利用者の暮らしぶりを具体的に伝えており、面会時には希望や疑問点なども聞き取っている。ホーム内と第三者機関の相談窓口を明示し、具体的な声を聞き取るよう努めている。家族が互いに話し合える機会を設けるため、家族会の設置についても検討している。

#### ▼ 日常生活における地域との連携 (関連項目: 外部3)

商店街の土曜夜市に出かけたり、地域のサロンなどに参加し、楽しむ機会を多く設けるよう努めている。小・中学生の体験学習を受け入れ、おやつを作って一緒に食べたり、高校生の水軍太鼓の披露を楽しんだり、幼稚園児を迎えて楽しく過ごすこともある。

(別表第1の2)

## 自己評価及び外部評価結果表

### サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

#### I. 理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

#### II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

#### III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

#### IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

#### V. サービスの成果に関する項目

**ホップ 職員みんなで自己評価!**  
**ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!**  
**ジャンプ 評価の公表で取り組み内容をPR!!!**

ーサービス向上への3ステップー  
 “愛媛県地域密着型サービス評価”

#### 【記入方法】

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。
  - 各自己評価項目について、「取り組みの事実」を記入し、取組みたいに※を付け、適宜その内容を記入すること。
  - 「取り組みの事実」は必ず記入すること。
- (注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

#### ※用語について

- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。  
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。
- チーム＝一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。  
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 社会福祉法人松山紅梅会梅本の里

(ユニット名) 1F

記入者(管理者)  
氏名 植村 雪・野本 浩二

評価完了日 平成 19 年 10 月 1 日

(別表第1)

## 自己評価及び外部評価票

【セル内での改行は「Alt+Enter」です。】

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価) 職員全員で意見を出し合い理念をつくっている		
			(外部評価) 地域との交流・協力関係を大切にし、地域で安定した暮らしができるよう、地域密着型サービスの役割に向けた理念を作り上げているが、理念が重要事項説明書等には明示されていない。	※	理念を玄関、台所に掲示しているが、重要事項説明書等にも明示し、利用者・家族にも説明することを期待する。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価) 入社した際など理念について話す機会はあるが、日々の取り組みとして具体的な実践につながっていない	※	日々のケアにつながるような理念を具体的に共有していかなければならない
			(外部評価) 職員会で理念について話し合っ共有に努めているが、日々の暮らしの中で具体的なケアに十分活かせているとはいえない。	※	理念を全体会、ユニット会などで十分話し合い、ケアの実践につなげていくよう更に努力することを期待する。
3		○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価) 家族に入所時説明はするが浸透するまではいたっていないと思う地域への理解の取り組みは出来ていない	※	運営推進会議や地域のサロンに参加した際などに話す機会をつくったりして理念の浸透に努めたい

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>2. 地域との支えあい</b>					
4		○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 散歩に出た時などは積極的に挨拶など行っているが気軽に立ち寄ってもらえるような感じまではいかない	※	広報誌などを作成するなどしてもっとアピールしていかなければならない
5	3	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 夜市やサロンなどに参加し地元の人々との交流に努めているまた、事業所として夏祭りや運動会・地方祭など地域の方に来ていただくことで交流をはかっている  (外部評価) 近辺に民家が少ないが、小・中学生の訪問を受け、ケーキ作りを楽しんだり、幼稚園、公民館等とも交流を行っている。地域のサロンに参加し、また地域住民に対して認知症に関する理解・協力への話し合いを行っている。	※	職員一人一人が地域・地元の一員としての自覚をもっていかなければならない。
6		○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 事業所としてはサロンへのAEDの寄贈や介護者・家族・地域の方との勉強会などを行っている	※	GHとして出来ることがないか運営推進会議等で話し合う
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
7	4	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) それぞれが自己評価を行い日頃のケアの振り返りに役立っているが、その後具体的な改善まではいたっていない  (外部評価) 前回評価で身体機能の低下した利用者の外出や活動支援が不十分な点や、地域との交流が十分行われていない点などが指摘されたことを受け、職員全員で改善に取り組み、ケアの質の向上に努めている。	※	評価項目を全員で見直し具体的改善につながるよう活用していきたい

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価) 2ヶ月に1回行い話し合いを行っている	※	家族の参加が少ない為積極的に声をかけていきたい
			(外部評価) 2か月に1度会議を開催し、ホームの運営方針、地域との連携の必要性、看取りの対応、避難訓練等についての話し合いを行っている。参加者からホームへの希望を聞き取り、ケアに活かすよう検討している。	※	毎回の会議に利用者、家族代表の参加を得て、ホームへの希望をより具体的に聞き取るよう努めることを期待する。
9	6	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価) できていない	※	運営推進会議をきっかけにして行き来出来る機会をもちたい
			(外部評価) 市担当者と連携を取り、市の職員の実習も受け入れ、体験を通してホームへの理解・協力を深めてもらうよう努めている。	※	ホーム便り等を活用して市担当者への情報提供し、さらに様々な課題を共有して問題解決に努めることを期待する。
10		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価) 研修などに参加したことはあるが活用を支援するまではいたっていない	※	権利擁護についてもっと理解をする必要がある
11		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 研修などで勉強する機会をもち職員それぞれがこころがけている		



自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 施設長との定期的な面談の機会を設けている。職員会議を活用し意見を聞く機会を設けている。	※	管理者との面談も行っていきたい
17		○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 各階で状況の変化におうじた勤務の調整を行っている		
18	9	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 利用者や家族の馴染みの関係などを配慮している  (外部評価) 担当者の交代は極力少なくしているが、やむを得ず交代する場合は利用者と家族にその理由を説明し、全職員でカバーしあって利用者に不安を与えないよう配慮している。		
5. 人材の育成と支援					
19	10	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 施設内施設外等の研修の機会をもうけている  (外部評価) 職員会議で看取り介護等についての話し合いを行い、新入職員は積極的に外部の研修会に出席し、研修記録を残してケアに活かしている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価) 相互研修などに参加して交流をはかっている	※	地域の他事業所との交流をもっていきたい
			(外部評価) グループホーム連絡協議会主催の相互研修会には参加しているが、近くのホームとの交流や学習会は行っていない。	※	事業所が相互に訪問しながら交流や連携を取り合っ、具体的に相互のケアの向上に活かす取り組みを期待する。
21		○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価) 面談などで話し合う機会を設けている		
22		○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価) 実績や勤務状況は把握しているが、なかなかその人にあった向上心の持ち方を提供できていない	※	各自の目標づくりや個々の得意分野の活用などを考えていきたい
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
23		○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 個別処遇等で一対一で話せる環境をつくったり、介護相談の方にきて頂き、外部者へ表せる機会を設けている		
24		○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 家族の立場に立った理解が出来るように努めている		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
25		○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) できている		
26	12	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 見学や体験入所などをおこなって本人の不安を取りのぞけるようにしている  (外部評価) 本人・家族と面接を行い、ホームの見学、体験入居などを通してホームの雰囲気に徐々に馴染んでもらっている。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
27	13	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 共に生活している場として職員がとらえ利用者の生活のペースにあわせた時間の過ごし方や、介護するだけでなく出来ることを見極め援助に努めている  (外部評価) 機能に応じて食前・食後の手伝い、洗濯物たたみ、畑仕事などに取り組み、支援する立場、支援される立場でなく共に支え合う気持ちを大切にしている。		
28		○本人と共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 便りを送ったり行事参加に声をかけたりと家族との関係も継続できるようにしている	※	特定の家族の協力になっているところもあるので家族会なども行っていきたい

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
29		○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 入所時の面接や面会時に情報収集しよりよい関係を継続できるように援助している		
30		○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) バックグラウンドを職員全員で共有したり、日々の会話のなかで得た情報を活用し支援に努めている		
31		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 利用者同士の関係を把握し、コミュニケーションが取りにくい場合は職員が中間的役割をして関わり合いをもてるように援助している		
32		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) できている		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
33	14	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 日々の会話の中で希望や意向の把握に努められるようにしている。困難な場合は家族や本人本位で検討をしている  (外部評価) 話し合いを大切にし、目配りと気配りに十分配慮しながら利用者の気持ちを把握するよう努めている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
34		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 入居時にバックグラウンドを把握している		
35		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価) 介護記録をとることによって現状を把握し様々な援助に努めている		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
36	15	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価) 3ヶ月に一度を目安として、見直しを行い利用者本位の介護計画の作成に努めている  (外部評価) 家族から情報提供を受け、職員で十分話し合って1か月の介護計画を作成し、その後、利用者の生活の様子、身体状況の変化に応じて、3か月の介護計画を作成している。家族にはその都度、了解を得ている。	※	家族と作成の段階での話し合いが出来てないので作成する前に家族と話し合う機会をつくりたい
37	16	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価) 3ヶ月に一度を目安として、見直しを行い、変化があった際、介護保険の認定更新の時期にあわせて新たに作成している  (外部評価) 利用者の生活の様子や身体の状態を観察し、医療面のみでなく精神的な面を大切にしながら、必要に応じて主治医とも相談し、3か月に1度の見直しを行っている。状態の変化に応じては随時見直しを行い、家族には了解を得ている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
38		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価) 個別の記録をとり共有することで実際のケアや介護計画に活かしている		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
39	17	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価) 併設の施設体系を活かし柔軟な支援を行っている（看護師との連携・ハード面の活用）  (外部評価) 併設施設の機能を柔軟に活用しながら大型バスでの外出、施設内の散歩、機能に応じて機械浴の導入などを行っている。1人ひとりを見守り、希望時間に合わせた入浴、散歩などの支援を行い、家族にも安心してもらえるよう努めている。		
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
40		○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 地域のサロンに出かけたり、消防訓練をしたりと協力した取り組みを行っている	※	外部に出た際職員がグループホームのアピールをおこなえたらよい
41		○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 他事業所との連携はとれていない	※	閉鎖的にならないよう積極的に他事業所との交流もはかっていきたい
42		○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 運営推進会議をきっかけに今後協働していけることを検討している途中である	※	地域包括を軸に地域の他事業所との連携をはかっていきたい

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43	18	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 協力病院だけでなく、本人・家族の意向も大切にして支援している  (外部評価) 本人・家族の希望する主治医から2週間に1度の往診を受け、結果を家族に伝えて医療面で安心できる支援を行っている。併設施設の看護師とも話し合いながら、ケアに努めている。		
44		○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 協力病院の中に心療内科の医師がいる		
45		○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 医療連携体制を整備し日常的に利用者の健康管理や医療の活用の支援をおこなっている		
46		○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 協力病院と連携をとっている		
47	19	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 本人・家族の希望を話し合い変化に合わせてその都度検討している  (外部評価) 看取りに関する指針に沿って学習を行い、家族にもホームの方針を説明している。夜間、緊急時の対応に関しても十分学習を行っている。他の医療機関や施設に移る希望がある場合は、退居に向けた支援を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
48		○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 介護ケアだけでなく看護ケアとともに支援に努めている	※	重度化や終末期に対する職員の質の向上のために勉強会などを行いたい
49		○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 徐々に状況を関係者で話し合い最善の選択を出来るよう努めている		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
50	20	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	(自己評価) 個々の尊厳を大切に支援している		
			(外部評価) 職員は利用者への声かけや対応は本人の誇りやプライバシーを損ねないよう十分配慮し、個人情報の取り扱いに関して家族とも相談しながら秘密保持の徹底に努めている。		
51		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価) 選択する機会や個別処遇などで個々の希望を表せるよう援助している		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
52	21	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 職員のペースではなく利用者のペースにあわせた生活を援助している  (外部評価) 本人の希望に沿い、また体調に配慮しながら買い物、入浴、散歩などの支援を行っている。また各人の機能に応じて食前・食後の手伝い、洗濯物たたみ、レクリエーションへの参加等を支援している。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 月1回の理・美容の希望を援助したり、希望のある方は望む店にいけるよう援助している		
54	22	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 献立を立てるさい好きなものを聞いて取り入れたり、誕生日などに希望の献立を立てている。配膳や盛り付けなど出来ることを一緒にして頂いている。  (外部評価) 機能と好みに応じて食事の準備や食後の手伝いをしてもらい、職員は介助の必要な利用者の傍らに座り、話しながらゆったりと支援している。栄養士による栄養チェックを行い、水分摂取にも配慮しながら支援している。		
55		○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) お茶の時なども好きな飲み物をお出ししている。現在タバコを吸う方はいないが吸える援助は行っている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
56		○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 排泄チェックなどを行い排泄のリズムをつかむことで、トイレでの排泄に心がけている		
57	23	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価) 個々の入浴の希望に合わせて支援している。  (外部評価) 入浴前には体調をチェックし、本人の希望する時間に合わせて入浴支援している。毎日入浴している利用者もあり、ほとんどの利用者が2日に1度は入浴を楽しんでいる。	※	入浴の希望の時間が重なってしまう場合がある為、それぞれに配慮して希望に添えられるよう援助する
58		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価) その人にあった寝具の形態を考慮したり、その人の体力状況に応じて援助している		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価) 畑仕事や家事などの日常生活の中で一人ひとりにあった支援をしている(配膳・畑仕事・食器洗いなど)  (外部評価) 食事の手伝い、洗濯物たたみ、畑仕事などを手伝ってもらい、日々の生活の中で極力出番を設けて楽しんでもらっている。新聞に俳句を投稿している利用者には多くの入選句が生まれるよう応援している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) お金を持つことの意味を理解し家族と話し合いその人そのひとに合わせて所持、利用出来るよう援助している		
61	25	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価) 買い物や散歩・個別処遇などを利用しなるべく戸外に出かけられるよう支援している。職員の勤務状態によっては希望に添えない時もある  (外部評価) 大型バスでお花見や公園に出かけ、商店街へ買い物にも出かけて楽しんでいる。また一人ひとりの希望に合わせて日々の散歩の支援も行っている。		
62		○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価) 個別処遇を活用し希望のある外出支援を行っている。家族との協力がなかなか出来ていない	※	家族とも協力して外出できる機会を作りたい
63		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 希望にそって援助している		
64		○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価) 気軽に訪問して頂けるよう挨拶や会話に努めている	※	どの職員とも気軽に話が出来るような雰囲気や関係を作っていきたい

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 身体拘束をしないケアの実現に取り組んでいる。様々なケースが出た場合はその都度検討している	※	保険法上の具体的行為について勉強を行いたい
66	26	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 夜間以外はかぎを掛けず自由に出入りが出来るようにしている  (外部評価) 日中には玄関に施錠していない。玄関にはセンサーを設置して出入りをチェックし、利用者を見守りながら安全な生活が送れるよう支援している。		
67		○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 所在の確認安全への配慮を職員全員が把握できるよう心がけている	※	ひやり・ハットの共有だけでなく再度検討することでより安全の確保に努めたい
68		○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) その人その人の状態に応じて持ち物の保管・管理をまかせている		
69		○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) 一人ひとりの状態を把握し予想できる事故に対する話し合いや事故の共有を図っている	※	転倒・誤薬などを知識として勉強会などを行いたい。また、事故が起こった後の検討をしっかり行いたい

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 救命救急の研修を定期的にうけているが備えとしては不十分である	※	日常の中で定期的な勉強会や訓練をおこないたい
71	27	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 年に2回消防訓練は行っているが日頃よりの備えは不十分である	※	実際に非難を行ったり、夜間想定訓練を行いたい
			(外部評価) 消防訓練は年に2回、消防署の指導の基に施設全体で実施しているが、十分とはいえない。緊急時のマニュアルは備えているが、マニュアルに沿った夜間想定訓練は実施していない。地域への協力・連携もまだ十分とはいえない。	※	分りやすいマニュアルを作成し、職員全員で普段から十分打ち合わせを行い、ホーム独自で夜間想定訓練を実施することが望まれる。
72		○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	(自己評価) リスクと自由とをよく話し合い本人本位での対応を検討している		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 定期的なバイタル測定、日常の変化異変の発見に努め、看護師とも連携し早期対応に努めている	※	一人ひとりの通常の状態の把握に努めると共に、異変に対する知識を深めていきたい
74		○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 処方箋を活用し全員で共有している		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
75		○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 排便チェック・水分摂取量などを活用して予防・対応に努めている		
76		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 定期的な歯科受診の支援や、日常的なその人に応じた支援を行っている		
77	28	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 食事量のチェック、必要に応じて水分量のチェックを活用し一人ひとりの状態に合わせて支援している  (外部評価) 毎回の食事・水分摂取量はチェック表に記録し、十分配慮している。10時と午後3時には水分補給も兼ねておやつを準備している。栄養士による栄養チェックを1週間ごとに行っている。		
78		○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	(自己評価) マニュアルを作成している		
79		○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	(自己評価) 手洗いの励行、調理器具等の消毒などを徹底している		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>					
<b>(1) 居心地のよい環境づくり</b>					
80		○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	(自己評価) 道路に面した所に看板を出し分かりやすくしている。花壇や表札を作って親しみやすい雰囲気を作っている。ただ併設の施設なのでなかなか近隣の人が出入りしにくいところがある	※	近隣の方へのアピールをもっとしいかなければならない
81	29	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 壁絵や季節の新聞などをはったり、季節の花などで季節感を出している。共用の空間は居心地のよさに配慮し利用者にあった空間づくりに努めている  (外部評価) 居間、台所は広く、空調、テレビの音量も適切に管理されている。見やすい時計やカレンダーを備え、季節の花をテーブルに飾り、利用者に安らぎと寛ぎを感じてもらおうよう努めている。		
82		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) 共用空間の中に独りになれる空間は難しいが自分の居場所として安心できる場所を確保している。食卓とソファを活用し利用者同士で過ごせる場所も確保している		
83	30	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 寝具や身の回りのものを使い慣れたものを用意している  (外部評価) 馴染みの物や懐かしい写真や人形を持ち込み、自分の部屋らしく落ち着いて生活できるよう工夫している。新聞への入選句を筆でしたため、部屋に飾っている利用者もいる。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
84		○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価) こまめな換気に努めている。温度調節は温度計だけでなく、利用者の体感温度に応じて対応している		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) 手すりや車椅子など一人ひとりの身体機能に合わせ対応ができています。室内では極力車椅子の利用などを控えて身体機能の低下を防げるよう援助している	※	建物の構造上手すりが身体機能に対応していないことがあるので工夫したい
86		○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価) 一人ひとりの出来る出来ないを十分把握し混乱や失敗を防げるように支援している		
87		○建物の外周リや空間の活用 建物の外周リやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価) 居室からベランダに自由に入出りでき活動につなげている。中庭を散歩したり畑を活用している		

(注)

- 1  部分は自己評価と外部評価の共通評価項目。
- 2 全ての自己評価又は外部評価の項目に関し、具体的に記入すること。

V. サービスの成果に関する項目			
項 目	取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	1 ほぼ全ての利用者の (自己 ② 利用者の2/3くらいの 評価) 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	① 毎日ある (自己 2 数日に1回程度ある 評価) 3 たまにある 4 ほとんどない	
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	1 ほぼ全ての利用者が (自己 ② 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	① ほぼ全ての利用者が (自己 2 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	1 ほぼ全ての利用者が (自己 ② 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	① ほぼ全ての利用者が (自己 2 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	① ほぼ全ての利用者が (自己 2 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	1 ほぼ全ての家族と (自己 2 家族の2/3くらいと 評価) ③ 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	1 ほぼ毎日のように (自己 2 数日に1回程度 評価) 3 たまに ④ ほとんどない	

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	1 大いに増えている (自己 2 少しずつ増えている 評価) ③ あまり増えていない 4 全くいない	
98	職員は、活き活きと働いている	1 ほぼ全ての職員が (自己 ② 職員の2/3くらいが 評価) 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	① ほぼ全ての利用者が (自己 2 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	1 ほぼ全ての家族等が (自己 ② 家族等の2/3くらいが 評価) 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	

## 【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

日頃の会話やバックグラウンドにてらした本人の希望の把握や実現にむけて援助している。

(別表第1の2)

## 自己評価及び外部評価結果表

### サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

#### I. 理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

#### II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

#### III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

#### IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

#### V. サービスの成果に関する項目

**ホップ 職員みんなで自己評価!**  
**ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!**  
**ジャンプ 評価の公表で取り組み内容をPR!!!**

ーサービス向上への3ステップー  
 “愛媛県地域密着型サービス評価”

#### 【記入方法】

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。
  - 各自己評価項目について、「取り組みの事実」を記入し、取組みたいに※を付け、適宜その内容を記入すること。
  - 「取り組みの事実」は必ず記入すること。
- (注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

#### ※用語について

- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。  
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。
- チーム＝一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。  
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 社会福祉法人松山紅梅会梅本の里

(ユニット名) 1F

記入者(管理者)  
氏名 植村 雪・山中 敬子

評価完了日 平成 19 年 10 月 1 日

(別表第1)

## 自己評価及び外部評価票

【セル内での改行は「Alt+Enter」です。】

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価) 職員全員で意見を出し合い理念をつくっている		
			(外部評価) 地域との交流・協力関係を大切にし、地域で安定した暮らしができるよう、地域密着型サービスの役割に向けた理念を作り上げているが、理念が重要事項説明書等には明示されていない。	※	理念を玄関、台所に掲示しているが、重要事項説明書等にも明示し、利用者・家族にも説明することを期待する。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価) 入社した際など理念について話す機会はあるが、日々の取り組みとして具体的な実践につながっていない	※	日々のケアにつながるような理念を具体的に共有していかなければならない
			(外部評価) 職員会で理念について話し合っ共有に努めているが、日々の暮らしの中で具体的なケアに十分活かせているとはいえない。	※	理念を全体会、ユニット会などで十分話し合い、ケアの実践につなげていくよう更に努力することを期待する。
3		○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価) 家族に入所時説明はするが浸透するまではいたっていないと思う地域への理解の取り組みは出来ていない	※	運営推進会議や地域のサロンに参加した際などに話す機会をつくったりして理念の浸透に努めたい

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>2. 地域との支えあい</b>					
4		○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 散歩に出た時などは積極的に挨拶など行っているが気軽に立ち寄ってもらえるような感じまではいかない	※	広報誌などを作成するなどしてもっとアピールしていかなければならない
5	3	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 夜市やサロンなどに参加し地元の人々との交流に努めているまた、事業所として夏祭りや運動会・地方祭など地域の方に来ていただくことで交流をはかっている  (外部評価) 近辺に民家が少ないが、小・中学生の訪問を受け、ケーキ作りを楽しんだり、幼稚園、公民館等とも交流を行っている。地域のサロンに参加し、また地域住民に対して認知症に関する理解・協力への話し合いを行っている。	※	職員一人一人が地域・地元の一員としての自覚をもっていかなければならない。
6		○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 事業所としてはサロンへのAEDの寄贈や介護者・家族・地域の方との勉強会などを行っている	※	GHとして出来ることがないか運営推進会議等で話し合う
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
7	4	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) それぞれが自己評価を行い日頃のケアの振り返りに役立っているが、その後具体的な改善まではいたっていない  (外部評価) 前回評価で身体機能の低下した利用者の外出や活動支援が不十分な点や、地域との交流が十分行われていない点などが指摘されたことを受け、職員全員で改善に取り組み、ケアの質の向上に努めている。	※	評価項目を全員で見直し具体的改善につながるよう活用していきたい

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価) 2ヶ月に1回行い話し合いを行っている	※	家族の参加が少ない為積極的に声をかけていきたい
			(外部評価) 2か月に1度会議を開催し、ホームの運営方針、地域との連携の必要性、看取りの対応、避難訓練等についての話し合いを行っている。参加者からホームへの希望を聞き取り、ケアに活かすよう検討している。	※	毎回の会議に利用者、家族代表の参加を得て、ホームへの希望をより具体的に聞き取るよう努めることを期待する。
9	6	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価) できていない	※	運営推進会議をきっかけにして行き来出来る機会をもちたい
			(外部評価) 市担当者と連携を取り、市の職員の実習も受け入れ、体験を通してホームへの理解・協力を深めてもらうよう努めている。	※	ホーム便り等を活用して市担当者への情報提供し、さらに様々な課題を共有して問題解決に努めることを期待する。
10		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価) 研修などに参加したことはあるが活用を支援するまではいたっていない	※	権利擁護についてもっと理解をする必要がある
11		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 研修などで勉強する機会をもち職員それぞれがこころがけている		



自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 施設長との定期的な面談の機会を設けている。職員会議を活用し意見を聞く機会を設けている。	※	管理者との面談も行っていきたい
17		○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 各階で状況の変化におうじた勤務の調整を行っている		
18	9	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 利用者や家族の馴染みの関係などを配慮している  (外部評価) 担当者の交代は極力少なくしているが、やむを得ず交代する場合は利用者と家族にその理由を説明し、全職員でカバーしあって利用者に不安を与えないよう配慮している。		
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
19	10	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 施設内施設外等の研修の機会をもうけている  (外部評価) 職員会議で看取り介護等についての話し合いを行い、新入職員は積極的に外部の研修会に出席し、研修記録を残してケアに活かしている。	※	日々の業務におわれている感もあるので職員の勉強の場を少しづつでももっていきたい

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価) 相互研修などに参加して交流をはかっている	※	地域の他事業所との交流をもっていきたい
			(外部評価) グループホーム連絡協議会主催の相互研修会には参加しているが、近くのホームとの交流や学習会は行っていない。	※	事業所が相互に訪問しながら交流や連携を取り合って、具体的に相互のケアの向上に活かす取り組みを期待する。
21		○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価) 面談などで話し合う機会を設けている		
22		○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価) 実績や勤務状況は把握しているが、なかなかその人にあった向上心の持ち方を提供できていない	※	各自の目標づくりや個々の得意分野の活用などを考えていきたい
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
23		○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 面接を必ず行い、本人の希望を受け止められるよう援助している		
24		○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 家族の立場に立った理解が出来るように努めている		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
25		○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) できている		
26	12	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 見学や体験入所などをおこなって本人の不安を取りのぞけるようにしている  (外部評価) 本人・家族と面接を行い、ホームの見学、体験入居などを通してホームの雰囲気に徐々に馴染んでもらっている。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
27	13	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 共に生活している場として職員がとらえ利用者の生活のペースにあわせた時間の過ごし方や、介護するだけでなく出来ることを見極め援助に努めている  (外部評価) 機能に応じて食前・食後の手伝い、洗濯物たたみ、畑仕事などに取り組み、支援する立場、支援される立場でなく共に支え合う気持ちを大切にしている。		
28		○本人と共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 便りを送ったり行事参加に声をかけたりと家族との関係も継続できるようにしている	※	特定の家族の協力になっているところもあるので家族会なども行っていきたい

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
29		○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 入所時の面接や面会時に情報収集しよりよい関係を継続できるように援助している		
30		○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) バックグラウンドを職員全員で共有したり、日々の会話のなかで得た情報を活用し支援に努めている		
31		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 利用者同士の関係を把握し、コミュニケーションが取りにくい場合は職員が中間的役割をして関わり合いをもてるように援助している		
32		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) できている		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
33	14	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 日々の会話の中で希望や意向の把握に努められるようにしている。困難な場合は家族や本人本位で検討をしている  (外部評価) 話し合いを大切にし、目配りと気配りに十分配慮しながら利用者の気持ちを把握するよう努めている。	※	困難な方が増えてきているので家族とのコミュニケーションからの情報も大事にしていきたい

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
34		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 入居時にバックグラウンドを把握している		
35		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価) 介護記録をとることによって現状を把握し様々な援助に努めている		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
36	15	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価) 3ヶ月に一度を目安として、見直しを行い利用者本位の介護計画の作成に努めている  (外部評価) 家族から情報提供を受け、職員で十分話し合って1か月の介護計画を作成し、その後、利用者の生活の様子、身体状況の変化に応じて、3か月の介護計画を作成している。家族にはその都度、了解を得ている。	※	家族と作成の段階での話し合いが出来てないので作成する前に家族と話し合う機会をつくりたい
37	16	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価) 3ヶ月に一度を目安として、見直しを行い、変化があった際、介護保険の認定更新の時期にあわせて新たに作成している  (外部評価) 利用者の生活の様子や身体の状態を観察し、医療面のみでなく精神的な面を大切にしながら、必要に応じて主治医とも相談し、3か月に1度の見直しを行っている。状態の変化に応じては随時見直しを行い、家族には了解を得ている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
38		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価) 個別の記録をとり共有することで実際のケアや介護計画に活かしている		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
39	17	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価) 併設の施設体系を活かし柔軟な支援を行っている（看護師との連携・ハード面の活用）  (外部評価) 併設施設の機能を柔軟に活用しながら大型バスでの外出、施設内の散歩、機能に応じて機械浴の導入などを行っている。1人ひとりを見守り、希望時間に合わせた入浴、散歩などの支援を行い、家族にも安心してもらえるよう努めている。		
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
40		○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 事業所全体としては協力できているが個別的な協力はなかなか出来ていない	※	外部に出た際職員がグループホームのアピールをおこなえたらよい
41		○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 他事業所との連携はとれていない	※	閉鎖的にならないよう積極的に他事業所との交流もはかっていきたい
42		○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 運営推進会議をきっかけに今後協働していけることを検討している途中である	※	地域包括を軸に地域の他事業所との連携をはかっていきたい

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43	18	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 協力病院だけでなく、本人・家族の意向も大切にして支援している  (外部評価) 本人・家族の希望する主治医から2週間に1度の往診を受け、結果を家族に伝えて医療面で安心できる支援を行っている。併設施設の看護師とも話し合いながら、ケアに努めている。		
44		○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 協力病院の中に心療内科の医師がいる		
45		○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 医療連携体制を整備し日常的に利用者の健康管理や医療の活用の支援をおこなっている		
46		○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 協力病院と連携をとっている		
47	19	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 本人・家族の希望を話し合い変化に合わせてその都度検討している  (外部評価) 看取りに関する指針に沿って学習を行い、家族にもホームの方針を説明している。夜間、緊急時の対応に関しても十分学習を行っている。他の医療機関や施設に移る希望がある場合は、退居に向けた支援を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
48		○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 介護ケアだけでなく看護ケアとともに支援に努めている	※	重度化や終末期に対する職員の質の向上のために勉強会などを行いたい
49		○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 徐々に状況を関係者で話し合い最善の選択を出来るよう努めている		
<p><b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b></p> <p><b>1. その人らしい暮らしの支援</b></p> <p>(1) 一人ひとりの尊重</p>					
50	20	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	(自己評価) 個々の尊厳を大切に支援している		
			(外部評価) 職員は利用者への声かけや対応は本人の誇りやプライバシーを損ねないよう十分配慮し、個人情報の取り扱いに関して家族とも相談しながら秘密保持の徹底に努めている。		
51		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価) 選択する機会や個別処遇などで個々の希望を表せるよう援助している		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
52	21	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 希望の抽出が難しくなっていたり、ADLの低下に伴い希望にそった支援に幅がすくなっている  (外部評価) 本人の希望に沿い、また体調に配慮しながら買い物、入浴、散歩などの支援を行っている。また各人の機能に応じて食前・食後の手伝い、洗濯物たたみ、レクリエーションへの参加等を支援している。	※	個々のその人らしさを考えていきたい
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 月1回の理・美容支援をおこなっている。また美容の経験のある職員が援助したりしている		
54	22	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 献立を立てるさい好きなものを聞いて取り入れたり、誕生日などに希望の献立を立てている。利用者と一緒に準備や片付けなどは出来なくなっているが、一緒に食事をする事で共同の生活感を支援している  (外部評価) 機能と好みに応じて食事の準備や食後の手伝いをしてもらい、職員は介助の必要な利用者の傍らに座り、話しながらゆったりと支援している。栄養士による栄養チェックを行い、水分摂取にも配慮しながら支援している。	※	家族からの情報を得られるようにコミュニケーションをとっていきたい
55		○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) お茶の時なども好きな飲み物をお出ししている。現在タバコを吸う方はいないが吸える援助は行っている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
56		○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 排泄チェックなどを行い排泄のリズムをつかむことで、トイレでの排泄に心がけている		
57	23	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価) 個々の入浴の希望に合わせて支援している。  (外部評価) 入浴前には体調をチェックし、本人の希望する時間に合わせて入浴支援している。毎日入浴している利用者もあり、ほとんどの利用者が2日に1度は入浴を楽しんでいる。		
58		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価) その人にあった寝具の形態を考慮したり、その人の体力状況に応じて援助している		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価) 役割感まではなかなか難しくなってきたが、その人が楽しく生活できるような支援が出来るよう心がけている  (外部評価) 食事の手伝い、洗濯物たたみ、畑仕事などを手伝ってもらい、日々の生活の中で極力出番を設けて楽しんでもらっている。新聞に俳句を投稿している利用者には多くの入選句が生まれるよう応援している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) お金を持つことの意味を理解し家族と話し合いその人そのひとに合わせて所持、利用出来るよう援助している		
61	25	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価) 散歩やドライブなどを取り入れて戸外に出かけられるよう支援をしている  (外部評価) 大型バスでお花見や公園に出かけ、商店街へ買い物にも出かけて楽しんでいる。また一人ひとりの希望に合わせて日々の散歩の支援も行っている。		
62		○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価) なかなか普段いけない場所への外出支援は行えていない	※	家族と協力して外出できる機会を作りたい
63		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 希望にそって援助している		
64		○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価) 気軽に訪問して頂けるよう挨拶や会話に努めている	※	どの職員とも気軽に話が出来るような雰囲気や関係を作っていきたい

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 身体拘束をしないケアの実現に取り組んでいる。様々なケースが出た場合はその都度検討している	※	保険法上の具体的行為について勉強を行いたい
66	26	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 夜間以外はかぎを掛けず自由に出入りが出来るようにしている  (外部評価) 日中には玄関に施錠していない。玄関にはセンサーを設置して出入りをチェックし、利用者を見守りながら安全な生活が送れるよう支援している。		
67		○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 所在の確認安全への配慮を職員全員が把握できるよう心がけている	※	ひやり・ハットの共有だけでなく再度検討することでより安全の確保に努めたい
68		○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) その人その人の状態に応じて持ち物の保管・管理をまかせている		
69		○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) 一人ひとりの状態を把握し予想できる事故に対する話し合いや事故の共有を図っている	※	転倒・誤薬などを知識として勉強会などを行いたい。また、事故が起こった後の検討をしっかり行いたい

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 救命救急の研修を定期的にうけているが備えとしては不十分である	※	日常の中で定期的な勉強会や訓練をおこないたい
71	27	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 年に2回消防訓練は行っているが日頃よりの備えは不十分である	※	実際に非難を行ったり、夜間想定訓練を行いたい
			(外部評価) 消防訓練は年に2回、消防署の指導の基に施設全体で実施しているが、十分とはいえない。緊急時のマニュアルは備えているが、マニュアルに沿った夜間想定訓練は実施していない。地域への協力・連携もまだ十分とはいえない。	※	分りやすいマニュアルを作成し、職員全員で普段から十分打ち合わせを行い、ホーム独自で夜間想定訓練を実施することが望まれる。
72		○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	(自己評価) リスクと自由とをよく話し合い本人本位での対応を検討している		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 定期的なバイタル測定、日常の変化異変の発見に努め、看護師とも連携し早期対応に努めている	※	一人ひとりの通常の状態の把握に努めると共に、異変に対する知識を深めていきたい
74		○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 処方箋を活用し全員で共有している		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
75		○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 排便チェック・水分摂取量などを活用して予防・対応に努めている		
76		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 定期的な歯科受診の支援や、日常的なその人に応じた支援を行っている		
77	28	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 食事量のチェック、必要に応じて水分量のチェックを活用し一人ひとりの状態に合わせて支援している  (外部評価) 毎回の食事・水分摂取量はチェック表に記録し、十分配慮している。10時と午後3時には水分補給も兼ねておやつを準備している。栄養士による栄養チェックを1週間ごとに行っている。		
78		○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	(自己評価) マニュアルを作成している		
79		○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	(自己評価) 手洗いの励行、調理器具等の消毒などを徹底している		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
80		○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	(自己評価) 道路に面した所に看板を出し分かりやすくしている。花壇や表札を作って親しみやすい雰囲気を作っている。ただ併設の施設なのでなかなか近隣の人が出入りしにくいところがある	※	近隣の方へのアピールをもっとしいかなければならない
81	29	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 壁絵や季節の新聞などをはったり、季節の花などで季節感を出している。共用の空間は居心地のよさに配慮し利用者にあった空間づくりに努めている  (外部評価) 居間、台所は広く、空調、テレビの音量も適切に管理されている。見やすい時計やカレンダーを備え、季節の花をテーブルに飾り、利用者に安らぎと寛ぎを感じてもらおうよう努めている。		
82		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) 共用空間の中に独りになれる空間は難しいが自分の居場所として安心できる場所を確保している。食卓とソファを活用し利用者同士で過ごせる場所も確保している		
83	30	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 寝具や身の回りのものを使い慣れたものを用意している  (外部評価) 馴染みの物や懐かしい写真や人形を持ち込み、自分の部屋らしく落ち着いて生活できるよう工夫している。新聞への入選句を筆でしたため、部屋に飾っている利用者もいる。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
84		○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価) こまめな換気に努めている。温度調節は温度計だけでなく、利用者の体感温度に応じて対応している		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) 手すりや車椅子など一人ひとりの身体機能に合わせ対応ができています。室内では極力車椅子の利用などを控えて身体機能の低下を防げるよう援助している	※	建物の構造上手すりが身体機能に対応していないことがあるので工夫したい
86		○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価) 一人ひとりの出来る出来ないを十分把握し混乱や失敗を防げるように支援している		
87		○建物の外周リや空間の活用 建物の外周リやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価) 居室からベランダに自由に入出りでき活動につなげている。中庭を散歩したり畑を活用している		

(注)

- 1  部分は自己評価と外部評価の共通評価項目。
- 2 全ての自己評価又は外部評価の項目に関し、具体的に記入すること。

V. サービスの成果に関する項目			
項 目	取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	1 ほぼ全ての利用者の (自己 ② 利用者の2/3くらいの 評価) 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	① 毎日ある (自己 2 数日に1回程度ある 評価) 3 たまにある 4 ほとんどない	
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	1 ほぼ全ての利用者が (自己 ② 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	① ほぼ全ての利用者が (自己 2 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	1 ほぼ全ての利用者が (自己 2 利用者の2/3くらいが 評価) ③ 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	① ほぼ全ての利用者が (自己 2 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	① ほぼ全ての利用者が (自己 2 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	1 ほぼ全ての家族と (自己 2 家族の2/3くらいと 評価) ③ 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	1 ほぼ毎日のように (自己 2 数日に1回程度 評価) 3 たまに ④ ほとんどない	

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	1 大いに増えている (自己 2 少しずつ増えている 評価) ③ あまり増えていない 4 全くいない	
98	職員は、生き活きと働けている	1 ほぼ全ての職員が (自己 ② 職員の2/3くらいが 評価) 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	(自己 ① ほぼ全ての利用者が 評価) 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	(自己 1 ほぼ全ての家族等が 評価) ② 家族等の2/3くらいが 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	

## 【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)